

Minami Kyushu University Syllabus									
シラバス年度	2022年度	開講キャンパス		都城キャンパス		開設学科		環境園芸学科	
科目名称	教育心理学					授業形態		講義	
科目コード	410410	単位数	2単位	配当学年	2年	実務経験教員		アクティブ ラーニング	○
担当教員名	福富 隆志								
授業概要	<p>本授業の目的は、教育心理学の知見や考え方を学ぶことを通して、教育実践を批判的に検討できる眼と、将来的に教育に携わった場合に必要な実践力の基礎を身につけることです。</p> <p>そこで本授業では、教育心理学を「教育に関する『問い』に対する心理学的アプローチの総称」と位置づけ、これまで蓄積されてきた知見や考え方を、「学習」と「教育実践」の視点から概説します。さらに、自分自身の体験や教育心理学の理論をもとに、教育に関する様々な問題を考え、意見交換することで、教育に関する考察を深める機会も設けます。</p>								
関連する科目									
授業の進め方と方法	<p>講義を中心としながらも、映像視聴、グループ討論と意見の発表、課題の実施、質問紙への回答など、積極的に参加してもらう工夫をしたいと思います。</p>								
授業計画【第1回】	1. 教育心理学とは何か 教育心理学とは何かについて学ぶ								
授業計画【第2回】	2. 活動的な学び 活動的な学びとは何かについて学ぶ								
授業計画【第3回】	3. 知識の獲得1：短期記憶 記憶の基本的なしくみと、短期記憶の役割について学ぶ								
授業計画【第4回】	4. 知識の獲得2：「わかる」とはどういうことか 長期記憶の構造と、「わかる」とはどういうことかについて学ぶ								
授業計画【第5回】	5. 問題解決と思考1：問題解決プロセス 問題解決のしくみについて学ぶ								
授業計画【第6回】	6. 問題解決と思考2：創造的思考とクリティカル・シンキング 創造的思考とクリティカルシンキング、思考力を育む教育実践について学ぶ								
授業計画【第7回】	7. 学習意欲1：「やる気の持論」を考える やる気の持論（やる気についての自分なりの理論）を考える								
授業計画【第8回】	8. 学習意欲2：動機づけ理論と教育実践 学習意欲のしくみと教育実践との関係について学ぶ								
授業計画【第9回】	9. 適応と障害 発達障害と教育実践の関係について、適応の視点から学ぶ								
授業計画【第10回】	10. 教育の方法1：学習者中心の教育とは 学習者中心の教育とは何かについて学ぶ								
授業計画【第11回】	11. 教育の方法2：「個」を尊重する教育とは 「個」を尊重する教育とは何かについて学ぶ								

授業計画 【第12回】	12. 教師の成長と熟達化 教師の成長や、それを支える環境について学ぶ
授業計画 【第13回】	13. 教育の評価1：教育評価観を考える 教育評価観（教育評価についてのイメージ）について考える
授業計画 【第14回】	14. 教育の評価2：教育実践としての評価 教育実践としての評価とは何かと、その方法について学ぶ
授業計画 【第15回】	15. 教育相談 教育相談とは何かと、その方法について学ぶ
授業の到達目標	1. 学習と教育実践に関する重要な理論について理解する。 2. 学習に関する教育心理学の知見と考え方を踏まえて、現在に至るまでの自分自身の学びを振り返り、その特徴を意味づけることができる。 3. 教育心理学の知見と考え方を踏まえて、「学習者中心の教育」についてのまとまった論考を作成できる。 4. 「良い教育実践とは何か」について、教育心理学の内容を踏まえつつ、自分の考えを表現できる。
学位授与の方針 (DP)との関連	1. 知識・理解を応用し活用する能力-(1)／1. 知識・理解を応用し活用する能力-(2)／2. 汎用的技能を応用し活用する能力-(1)／2. 汎用的技能を応用し活用する能力-(2)／3. 人間力、社会性、国際性の涵養-(5)
授業時間外の学修 【予習】	次回の授業範囲に関する資料を事前に熟読し、次回の講義内容の概略を把握すると同時に、専門用語の意味等を調べておくこと（1時間）
授業時間外の学修 【復習】	授業で学んだ内容を振り返り、要点を整理すること（1時間）、また授業時に示す課題に取り組むこと（1時間）
課題に対する フィードバック	授業内課題やレポートについては、提出された回答をいくつか取り上げながら、解説を行います。
評価方法・基準	①定期試験：50% ②レポート：20% ③課題：20% ④授業内課題・授業態度：10%
テキスト	特に用いません。毎回授業内容に応じた資料を作成し、配布します。
参考書	鹿毛雅治（編著）『発達と学習』（2018、学文社） 安藤寿康・鹿毛雅治（編著）『教育心理学』（2013、慶應義塾大学出版会） その他、必要に応じて図書、資料を紹介しします。
備考	